



入れ歯を作られる方はぜひお読みください 金属床とプラスチック床

丈夫で長持ち！
生体・機能
にも優しい！

入れ歯の床となる素材には大きく分けて金属とプラスチックがあります。
その違いはお口に入れたときの装着感や
お食事をしたときの噛みやすさ、
長期的には残っている歯や歯茎にも影響してきます。
入れ歯を作るプロ、歯科技工士の立場から少し解説いたします。

金属だからできる装着感

金属は丈夫なのでプラスチックよりも薄くできます。
お口に入れても違和感が少ないのは断然、金属床。

プラスチック床の入れ歯は最低でも3ミリ以上の厚みが必要なのに対し、金属床の入れ歯は1ミリもあればお口の中で強度を保つことが可能となります。味付け海苔がはりつくだけでも違和感を感じるほど敏感なお口感覚の中で、金属床の薄さはプラスチックに比べ大変優れた装着感となります。



抜群の熱伝導性で食感を感じる

金属はプラスチックに比べ熱をよく通します。
温かい食べ物を温かく感じる喜びがあります。

「入れ歯ではご飯を食べた気がしない」ということを耳にしたことはありませんか？
これは入れ歯によって、食べ物の感覚が直接お口に伝わらないことも一つの理由です。金属は熱がすぐに伝わるため、温かいものを温かいとすぐに感じる事ができ日常のお食事をより豊かに感じる事ができます。

ピッタリ合うほどよく噛める

精度の高い金属加工技術によりお口にピッタリフィット。
お口の形にも機能にも調和した入れ歯の効用。

お口に合わない入れ歯は痛くて、お口に入れるのもイヤになるものです。精度の高い金属加工技術はお口にピッタリ合い、材質の変形が少ないのが特徴です。そのため、プラスチックの入れ歯に比べよく噛めるだけでなく、長期的にも今残っている歯や歯茎への負担が少なく安心です。

こんな方にお勧めです

- インプラントは避けたい！
- よく噛める入れ歯を作りたい
- プラスチック床は違和感がある

	金属床	プラスチック床
装着感	○	△
食感	○	△
噛みやすさ	○	△
治療費用	△	○
治療期間	—	○

(お口の状況により異なる)

お口の正確な診査診断はかかりつけの
歯科医院でチェックしてください。

※金属床の入れ歯には健康保険が利用できません。医療費控除の対象になります。

メーカーPR等

私たちにお任せください！

金属床の性能を100%引き出すにはお口の中にピッタリ合うことが必要です。熟練した歯科技工士の熟練した技術だからこそできる金属床の入れ歯は、私たちが心込めて作らせていただきます。

〇〇技工所 代表 技工太郎



提携歯科医院